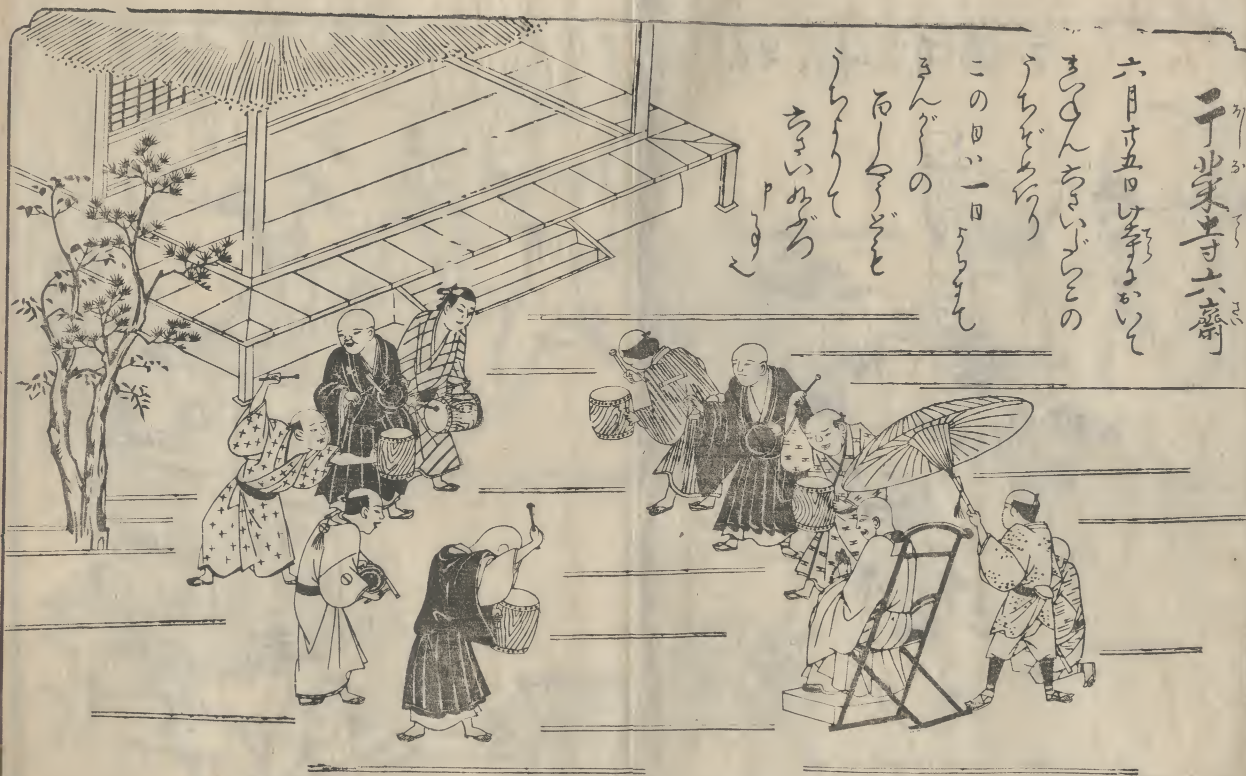
寶永

花洛細見圖

四

松崎の泉涌寺

松が崎泉涌寺の寺にまいりて
法華経の題目よみしとかけて
拍子よくあはせて老若男女
いふしころ
そろひとゝのへて
おどる有さまなり
けんぶつせいはし
あまた人のま
ちまたにたゞよひ
こゝとゝおもしろ
かぎりなり


壬生寺六斎
六月廿五日けいちかいて
きやうんちさいぶつの
うちぞめなり
この日ハ一日うちくらし
きんじよの
百しやうどもと
うちよりて
さいねぶつ
申す也


長徳山知恩寺
百万遍
開山堂
円光大師
阿弥陀堂
浴室

此社ハ中納言藤原
山蔭卿のまうし
勧請あり
一条院の御宇永延
元年よりまつり
始りて祭礼と
定らる
禁裏よ
りくして
帝都
の
古人
代
まつり
しえ
らるよ
北斗
あそ

六十余州
諸社ハ
山のよ
なと

外宮

八
神
殿

御本社

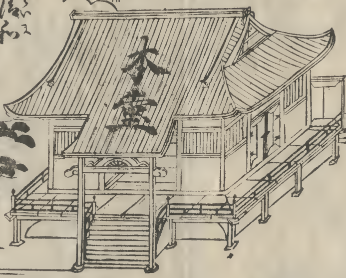
内宮

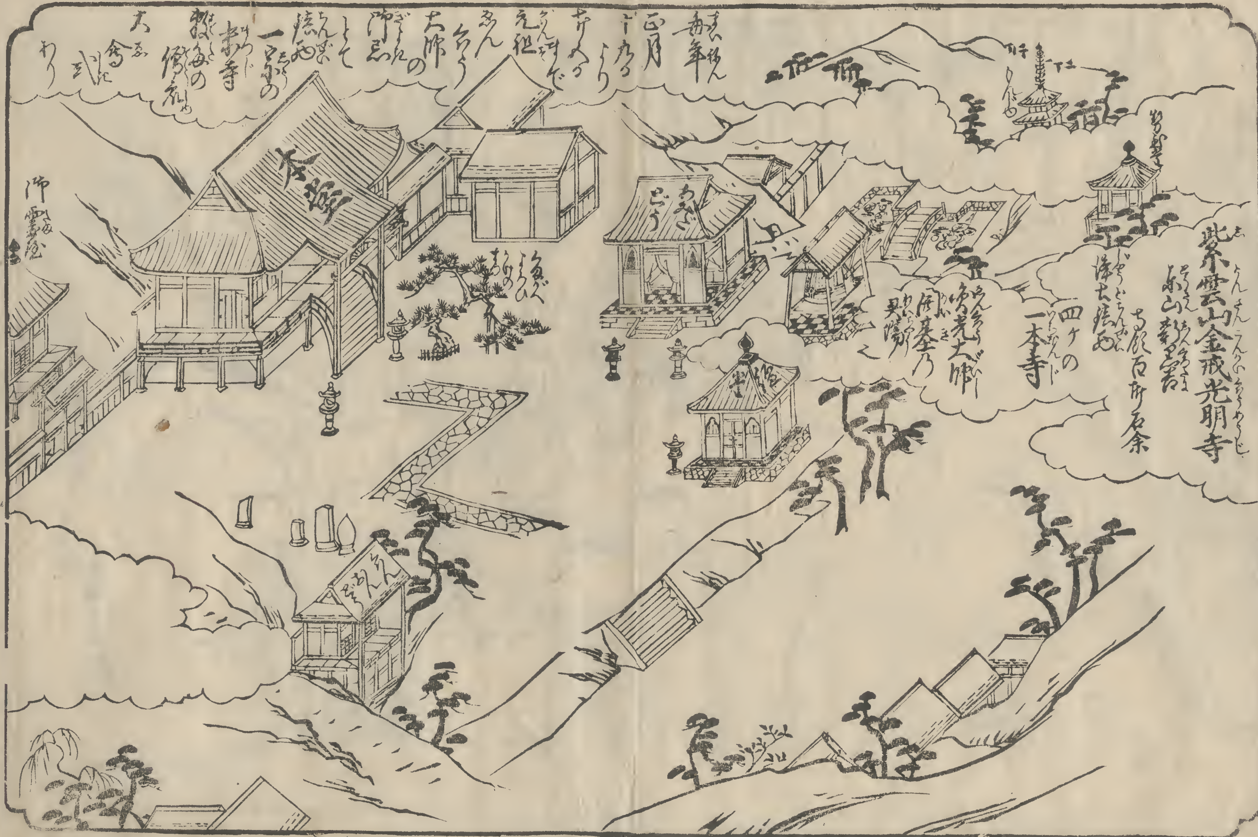
神楽所

吉田社
社領五百九十石

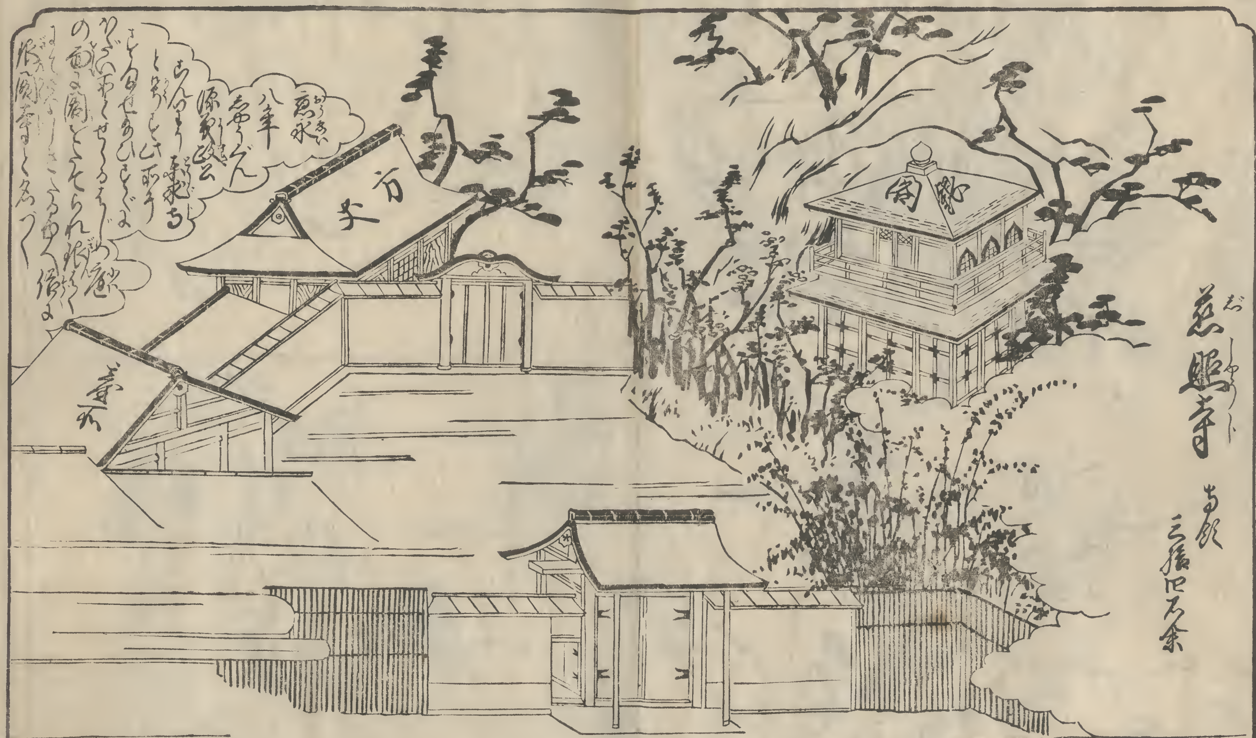

鈴聲山極樂寺真如堂
寺領百五石
善光寺うつりの如来
黒谷


大師堂


本堂
清和天皇の御宇
慈覚大師乃開基之
中興ハ戒算上人
本尊弥陀ハ慈覚大師の作
不断念仏乃道場なり
鎮守
山王
石薬師



紫雲山金戒光明寺
四ケの一本寺
毎年正月


慈照寺
方丈
銀閣

送火

盂蘭盆会の魂祭七月十六日
あるいは冥途の郷を
あるいは九品蓮花
浄刹を帰へ
十六日の夕べに
送火とぞ
あり

東山如意
大松ヶ崎を
大文字に
作る
松ヶ崎
妙法の
字を
ともす
す
みなおくり火の
いはれなり



萬無寺

開基萬無大和尚 [illegible]

[illegible]

